

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 北広島市立西部中学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒061-1268
北広島市輪厚中央1丁目12-1
E-mail seibut-1@hokkaido.school.ed.jp
Website http://www.school.kitahiroshima.hokkaido.jp
幼児児童生徒数 男子 101 名 女子 107 名 合計 208 名
幼児・児童・生徒の年齢 13 歳 ~ 15 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月

※報告書提出時点 ~ 平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度 + 活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

① 本校の ESD の特徴

本校の ESD・ユネスコスクールとしての活動は、カボチャの農園活動を軸とした農園活動です。カボチャの種を植え、芽を出させ (芽立て)、教室の発芽ポットで育て、双葉から本葉になったら、農園への移植時期を迎えます。農園作りは、環境委員会生徒やボランティア生徒の力も借りながら、地域の方が、たい肥、肥料、土壌改良材などを入れた畑を、トラクターで耕し、ロータリーで整地してくれます。本校業務主事の農業指導もいただき、畝をつくり、マルチシートを張り、全校生徒で、苗を移植します。水やりや草取りが重要な移植後一ヶ月程度の当番やボランティアを学級ごとに組み、カボチャは農園で花を咲かせ実をつけます。また、特別支援学級では、新たに畑を耕し、ジャガイモや各種野菜を植え、農業実習も継続しています。

② 地域に根ざした環境教育

全校生徒で収穫したカボチャや特別支援学級の生徒により収穫した野菜は、二次的な利用に取り組んでいます。

カボチャは磨いて陰干しし、①販売（PTA バザー販売・市農政部や JA の協力による特別支援学級生徒の全日空オープンゴルフ大会での販売実習・今年度よりユネスコカレンダー市でも販売）②カボチャを使った調理実習や PTA お菓子づくり③寄贈（高等養護学校・児童センター・高齢者や障がい者福祉施設・給食センター）用のカボチャは、生徒会事務局員や環境委員の手により、本校で育てたカボチャとして、近隣の関係機関で喜ばれています。給食センターでは、カボチャを利用したスープやデザートを市内の給食に出してくれます。4年目になるジャガイモづくりは、3種類のジャガイモを収穫、袋詰め、商品としてのパッケージデザイン等を学習し、市の農政部のご協力により、ANA OPEN の観戦に訪れた全国のお客さんに「輪厚へようこそ」というメッセージタグとともに販売実習することができ、キャリア教育という視点でも大きな学習素材となっています。

③活動事例

人・自然・地域に学ぶ

「ふるりの味づくり心づくし」ESD かぼちゃ農園活動

- | | | |
|---------------------|--------|--------------|
| (1) 芽立て集会 | 5月 8日 | |
| (2) かぼちゃ園土起こし・整地 | 5月20日 | 協力 地域農家 今井さん |
| (3) 移植集会 | 6月 6日 | |
| (4) 収穫・畑の整地・鶴撤去等 | 9月12日～ | |
| (5) ANAOPENでの販売 | 9月15日 | |
| 学校祭での販売 | 9月30日 | |
| 地域施設へ寄贈・市内給食への提供 | 10月 4日 | *約300個を収穫 |
| (6) リサイクルカレンダー市での販売 | 1月11日 | |



① カボチャ芽立て集会



② 地域施設等へのカボチャ寄贈



③ ANA オープン販売実習



④ リサイクルカレンダー市 カボチャ販売

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

○未来を拓くユネスコスクールとの連携
○ユネスコスクール10の質問・事例・資料集
○北海道版 ESD 環境教育プログラム集
○ESD（持続可能な開発のための教育）推進の手引き 等

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校のESD・ユネスコスクールとしての活動は、カボチャの農園活動を軸とした農園活動です。教育課程には全学年の総合的な学習の時間や家庭科の時間に位置づけています。指導内容を適切に進め、畑の撤去作業や地域施設への寄贈や市内給食への提供（給食センター）は放課後の時間を利用して行っています。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるために本校の特色であるコミュニティースクールの地域人材を活用して農園の畑おこしや収穫のお手伝いなどを行っています。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

本校は、コミュニティー・スクールとして、地域とともにある学校づくりを、また、ユネスコスクールとして「環境・福祉・人権・平和・国際理解」の取り組みを進めています。「think globally act locally」の精神と自分たちの活動に誇りを持ってもらいたいと、生徒会事務局から生徒会組織を活用し、自校の活動の意味づけを生徒自らに普及啓発してもらえよう工夫しています。ボランティア活動の呼びかけを生徒会事務局や委員会活動からの発信・呼びかけにすることにより、「やらされる」活動から「自主的」活動へ移行していくことが課題です。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

ESD の推進拠点としての活動の発信方法は学校便りや CS 便り、ホームページでの随時更新作業等で効果があがっていると考えます。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

北広島ユネスコ協会や西部コミュニティスクールとの協働・交流事業を行っています。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成は行っておらず、これからの課題です。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

1, 2 年生全員で取り組んだ除雪奉仕活動や北海道ユネスコ協会のリサイクルカレンダー市へのボランティアスタッフとして 2 日間、30 名の参加等、地域に根ざした地道な活動を生徒自らが、ユネスコスクールとしての自覚と誇りを持って取り組んでくれるよう活動を展開していきます。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

人・自然・地域に学ぶ

「ふる里の味づくり心づくし」ESD かぼちゃ農園活動

- (1) 芽立て集会 5月 8日
- (2) かぼちゃ園土起こし・整地 5月13日 協力 地域農家 今井さん
- (3) 移植集会 6月 5日
- (4) 収穫・畑の整地・鶴撤去等 9月11日～
- (5) ANAOPEN での販売 9月16日
- 学校祭での販売 9月29日
- 地域施設へ寄贈・市内給食への提供 10月3日
- (6) リサイクルカレンダー市での販売 1月9日～11日